

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2000-473(P2000-473A)

【公開日】平成12年1月7日(2000.1.7)

【出願番号】特願平11-139287

【国際特許分類】

<i>B 01 J</i>	31/28	(2006.01)
<i>C 07 B</i>	61/00	(2006.01)
<i>C 07 C</i>	67/00	(2006.01)
<i>C 07 C</i>	69/15	(2006.01)

【F I】

<i>B 01 J</i>	31/28	Z
<i>C 07 B</i>	61/00	3 0 0
<i>C 07 C</i>	67/00	
<i>C 07 C</i>	69/15	

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (1)触媒支持体と、(2)パラジウムと、(3)酸と、(4)少なくとも1種の酢酸触媒プロモータと、(5)酢酸カドミウム、金、銅およびニッケルから選択される酢酸ビニル触媒プロモータの少なくとも1種とからなることを特徴とする酢酸ビニルの製造に使用する触媒。

【請求項2】 支持対が多孔質シリカ、アルミナ、シリカ／アルミナ、チタニア、ジルコニアもしくは炭素からなる請求項1に記載の触媒。

【請求項3】 酸が、ヘテロポリ酸から選択される強酸である請求項1または2に記載の触媒。

【請求項4】 酸含有量が50重量%までである請求項3に記載の触媒。

【請求項5】 酢酸触媒プロモータがセレンイウム、チタニウム、テルリウムおよび/またはバナジウム含有化合物から選択される請求項1～4のいずれか一項に記載の触媒。

【請求項6】 酢酸触媒プロモータが酸化物、酢酸塩もしくはアセチルアセトン酸塩である請求項5に記載の触媒。

【請求項7】 酢酸ビニル触媒プロモータが金である請求項1～6のいずれか一項に記載の触媒。

【請求項8】 更に少なくとも1種の酢酸ビニル触媒コプロモータからなる請求項1～7のいずれか一項に記載の触媒。

【請求項9】 酢酸ビニル触媒コプロモータがアルカリ金属塩もしくはアルカリ土類金属塩から選択される請求項8に記載の触媒。

【請求項10】 酢酸ビニル触媒コプロモータが酢酸ナトリウムもしくは酢酸カリウムである請求項9に記載の触媒。

【請求項11】 エチレンを酸素含有ガスおよび必要に応じ水と請求項1～10のいずれか一項に記載の触媒の存在下に反応させることを特徴とする酢酸ビニルの製造方法。

【請求項12】 100～400の温度および1～20 bargの圧力にて行う請

求項 1 1 に記載の方法。